



▲摘み取ったハナモモの実を運ぶ男子

来年もきれいな花を咲かせよう 古河公方公園で ハナモモのお手入れ

6月12日、古河公方公園で、ハナモモの摘果作業が行われました。
子どもから大人まで15人の市民がボランティアとして参加。
今回作業を行った「寿星桃」という品種は、自ら実を落とすことができず、そのままにしておくと翌年、きれいな花を咲かせることができません。
参加者たちは、来年もきれいな花を来園者に楽しんでほしいという思いで、ハナモモの摘果を行っていました。



▲パラリンピックトーチ(左)とオリンピックトーチ(右)

希望の道を、つなごう。 東京2020オリンピック 聖火リレートーチ巡回展示

5月21日・22日に中央公民館で東京2020オリンピック・パラリンピック聖火リレーで使用されているトーチの巡回展示が実施されました。
「桜ゴールド」「桜ピンク」と呼ばれる異なる輝きを放つ2本のトーチを間近に見た来館者からは「実物を見ることができてよかった」「先端が桜の模様になっていて日本らしさを感じる」といった声が聞かれました。

心をひとつにボールをつなぐ 市民体育祭 ソフトバレーボール大会

6月13日、古河体育館で「古河市夏季ソフトバレーボール大会」が開催され、市内の16チームが参加しました。
当日は、新型コロナウイルス感染症対策をしっかりと講じた上で実施。参加した選手は「久しぶりの試合で緊張しましたが楽しく動きました」と汗を光らせていました。



▲コート上で躍動する選手たち

リズムに合わせて脂肪燃焼 心も体もリフレッシュ エアロビクス教室



▲講師の動きに合わせて体を動かす参加者

古河はなもも体育館、古河体育館ではエアロビクスやヨガなどのスポーツ教室(事前申し込み制)が開催されています。
エアロビクス教室は「楽しく脂肪燃焼できる」「ストレス発散にも効果的」と評判で、多くの参加者が音楽に合わせて楽しみながら体を動かし、汗を流していました。

一日も早いコロナ収束を願って 第14回 許我篆書展

4月24日～6月20日、篆刻美術館で許我篆書展を開催しました。
会場には、一日も早いコロナ収束を願い、疫病から私たちを守る「疫神」を篆書で表現した作品30点を展示。来館者は、それぞれの篆書作家の思いが表れた個性豊かな作品をじっくりと鑑賞していました。



▲一つ一つの作品に思いをはせる来館者

仏像に会いに行こう！ 古河市民大学 ～「仏像を拝する」 仏像めぐりツアー～



▲学芸員から説明を受ける受講者

6月10日、古河市民大学で「仏像を拝する」仏像めぐりツアーを開催しました。
第2回となる今回の講座では、バスで市内の仏像を見学。普段見ることができない仏像も見ることができ、ツアーに参加した人からは「さまざまな仏像に出会えて、とても勉強になった」などの声が聞かれました。